

**MINATOビジョン・タウンフォーラム
環境・リサイクルグループ（第4グループ）**

会議録（第1回）

■開催日時・場所・出席者

日 時 : 令和7年8月18日（月）18時30分～20時30分

会 場 : 港区役所9階 914会議室

メンバー: 11名（欠席者4名）

【内訳】対面参加10名、オンライン参加1名、

事務局 : 企画課グループ担当1名、サポートメンバー2名、委託事業者3名（うちファシリテーター1名、グラフィックレコーダー1名）

傍聴者 : 1名

■次第

（開会）

- 1 事務局挨拶
- 2 タウンフォーラムの進め方について
- 3 検討内容のまとめ方について
- 4 検討テーマに関する議論
 - ・守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史
 - ・港区の誇るべき特徴・長所
 - ・港区の将来像（理想の将来の港区の姿）の検討
- 5 事務局より連絡

（閉会）

■配付資料

- | | |
|-----|--------------------------|
| 資料1 | 第1回グループ会議進行資料 |
| 資料2 | タウンフォーラムの進め方 |
| 資料3 | 検討内容のまとめ方 |
| 資料4 | MINATOビジョンの策定に向けた「みんなの声」 |
| 資料5 | オンラインツールの活用について |
| 資料6 | 第2回グループ会議検討内容 |
| 資料7 | タウンフォーラムの各グループで取り入れたい要素 |

■貸与資料

なし

■会議要旨

(開会)

リーダーが、第1回グループ会議開催の挨拶及び開会宣言を行った。

1 事務局挨拶

事務局職員を紹介した。

2 タウンフォーラムの進め方について

事務局が、第1回から第3回のグループ会議及び報告会の概要について説明した。

3 検討内容のまとめ方について

事務局が検討内容のまとめ方について説明した。グループ会議の検討経過を、絵や図を用いたグラフィックレコードで記録することや、各グループで出た意見やアイデアを基に、港区全体の将来像を1つ、分野別の将来像を各グループ1つ（計7つ）策定し、その策定過程を報告会にて発表することを説明した。

4 検討テーマに関する議論

ファシリテーターが、グループワークの進め方、ねらいについて説明した。ラウンドごとに各自意見を付箋に書き出し、意見発表後、模造紙上で意見を分類分けした。

(1) 第1ラウンド 守りたい港区の伝統・伝えたい港区の歴史

(主な意見等)

参加者：自然との共存を守りたい。また、海や川をきれいに保ちたい。

歴史的なもののから最先端なものまで、過去・現在・未来の集合地であることは港区のオリジナリティであると感じるので守りたい。

ごみは少なく、比較的綺麗である。フードロスなどを減らし、よりクリーンな大都市を目指したい。

参加者：5地区に分かれているので、その地区の特徴を生かしたい。

大企業・行政・区民のつながりを大切にし、接点を増やしていきたい。

海外とのつながりもあるので、語学や文化など、海外との双方向のコミュニケーションも大切にしていきたい。

参加者：美術館などもあり、アートの発信地であること。

参加者：東京大空襲の記憶をつないでいきたい。

参加者：昔から住んできた人たちの歴史や文化を大切にしていきたい。再開発が増えて元々住んでいた方々が追い出されてしまうこともあり、町内会やお祭りなど、地域の伝統を守れなくなってしまうのではないか。今まで住んできた人たちの環境や繋がりにまで視野を広げていきたい。

大使館も多く、外国人を多く受け入れてきているので、相互理解を大事にしていきたい。

また、森や水を守り、虫や鳥などの生きものとの相互理解も大事にしたい。

参加者：寺社仏閣を大切にしていきたい。また、地元の人とのつながりとなるお祭りも大切にしていきたい。

坂や通り、また台場のように、歴史や由来のあるものを伝えていきたい。

また、老舗の味を守っていきたい。

参加者：自治体として、港区が全国的にも注目されていることはとても重要であるが、昨今では、港区のイメージはネガティブなものが多いと感じる。都市開発が進み、人も増えることでカーボンニュートラルにも逆行しているように感じる。今ある街並みを守りつつ、緑地化を進めていきたい。森林伐採をせず、緑を守ってきたい。

参加者：自然教育園、有栖川宮記念公園、亀塚公園などの公園も大事にしていきたい。

参加者：東京タワーのようなシンボルを守ってきたい。

（２）第２ラウンド 港区の誇るべき特徴・長所

（主な意見等）

参加者：子育て支援や幼児保育が充実している。

観光地が多くお祭りも開催され、楽しい街であることは魅力の一つであると感じる。歴史的な名所や美術館・博物館もあり、子どもの教育にも良いと感じる。企業の本社が多く、出前授業などが多い点も港区ならではの感じる。外国人や外資系企業も多い。

自転車の移動が便利。レーンやポートもたくさんあるので、移動しやすい。

参加者：老人ホームや在宅支援など、高齢者への支援も手厚い。

参加者：税収が多い。日本の中心であり、それゆえに財政、税収が潤っている。

参加者：東京タワーのような観光名所が多い。

参加者：街が整理されていて、緑が多い。

東京タワーがあることで、テレビ局やメディアが本社を構え、発信力につながっている。

参加者：大使館が多いがゆえに、警察官も多く、治安が良い。多様性と治安の両立が可能となっている。

参加者：大使館が多いこともあり、他国の料理のお店もあり、グルメを楽しめる。

犬が居やすい公園やペット可のカフェがあり、動物にも優しい。

ヨガやピラティスなど、ウェルネスを高める施設へアクセスしやすい。

参加者：スポーツ施設が多い。

参加者：寺院が多い。医療施設も多いと感じる。町内会に子どもが集まっている。

参加者：緑被率の高さ、都市と自然が融合していること。また、産官学が連携していること。ビジネス、アート、ライフが融合していること。

（３）第３ラウンド 港区の将来像（理想の将来の港区の姿）の検討

（主な意見等）

参加者：水辺に親しめる街を重視したい。水の要素を生かし切れていない。

外国人とも交わり切れていないと感じるので、多様性を大切にしたい。

自然と都心の共存できる街でありたい。

2040 年までの CO2 排出削減のサクセスストーリーを作りたい。

参加者：自然を増やし、守りたい。

受け継いできた歴史を守り続ける街でありたい。昔から住んでいる方々との相互理解を深めたい。

世界の先駆都市ポジションを目指したい。

参加者：芝浦の運河をきれいにしていきたい。

緑を増やし、23 区で 1 番を目指したい。

歴史と最先端がうまく融合できるような街づくりになってほしい。

再エネ率 100%を目指し、脱炭素先進都市として発信していきたい。

参加者：日本製のペロブスカイトなどを活用した脱炭素の取組の推進など、ポテンシャルはあると感じる。豊かさと環境の両立や資源の循環を目指したい。

カワセミやハヤブサなどがいて、生きものが暮らしやすい自然・環境を守ってほしい。

ペットも暮らしやすく、誰もが居心地の良い街を目指したい。

参加者：何世代も同じ土地に住めるような街であってほしい。

言葉でなくても、コミュニケーションツールが多く、相互理解を深められる街であってほしい。

知ることが理解につながるので、子どもの教育が充実してほしい。

参加者：国や地球規模で物事を理解し、行動する能力を高める。教育の向上。

参加者：古いビルなどを放置せず活用する街づくり。

参加者：シニア世代が子育て支援をサポートすることで、地域共生社会を後押し。

変えてはいけないことと変えなければいけないことを明確にし、ビジョンを作りたい。

参加者：ずっと住んでいた人の思いをもっと重視すべきである。港区をもっと大事に思う人が増えてほしい。歴史的な事実を伝える教育があるべきである。

参加者：災害時のことを考えると、いざというときのコミュニティが不足しており、不安に感じる。

いざというときに助け合えるようコミュニケーションを濃密にして、カッコいい街だけどあったかい街 No.1 であってほしい。

参加者：近隣同士の距離感もあってセンスもある街であってほしい。

5 事務局からの連絡

会議終了後の意見交換の手段として、オンラインツールの活用について案内した。また、第 2 回グループ会議の検討内容及び各グループで取り入れたい要素について説明が行い、次回会議の日程を確認した。

(閉会)

リーダーが閉会を告げ、終了。

以上